2022 Race Report

2022 MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ 第 2 戦
NGK スパークプラグ 鈴鹿 2&4 レース JSB1000 クラス

会場:三重県 鈴鹿サーキット 国際レーシングコース(1 周 5.821km)
日時:4 月 21 日(木)特別スポーツ走行
4 月 22 日(金)専有走行
4 月 23 日(土)公式予選・決勝レース 1(14 周) 天候:快晴 コース:ドライ
4 月 24 日(日)決勝レース 2(14 周) 天候:雨 コース:ウェット
観客動員数:16,000 人(大会期間中)
ライダー:#58 櫻山 茂昇/マシン:BMW S1000RR
結果:予選 59 台中 42 位(ベストタイム 2'13.188)
予選 59 台中 46 位(セカンドラップタイム 2'14.494)
決勝レース 1 44 台中 32 位
決勝レース 2 44 台中リタイヤ

日頃より信州活性プロジェクト Team 長野にご支援、ご声援をいただきまして、誠にありがとうございます。

信州活性プロジェクト Team 長野は全日本ロードレース選手権と鈴鹿 8 耐に参戦することで、全国そして世界へ長野県を PR することを目的として活動しています。

今大会は 8 月 7 日に開催予定の鈴鹿 8 耐へ向けて前哨戦となる全日本選手権鈴鹿 2&4 レースへ、マシンのセットアップやスタッフのスキルアップを目的として参戦しました。

■公式予選

ドライコンディションで行われた木曜日の特別スポーツ走行で 2 分 13 秒 127 と出だしとしては好調なタイムでしたが、その直後にエンジントラブルにより走行不能となってしまいました。急遽スペアマシンを用意するため、スタッフ総出で準備をして金曜日の ART 走行（練習走行）に間に合わせることが出来ました。午前中の走行でマシンチェックを行い、午後の走行でセッティングをしましたが、タイムは 1 分 14 秒 650 とセッティングに苦しみました。セッティングについてミーティングを行い方向性は見えてきましたが、パワーが足りない状況なため打開策を模索しながら土曜日の予選に挑みました。

迎えた予選当日は、雲は多いですがドライコンディションで A グループの予選がスタートしました。今大会では出走台数が多いため 2 グループでの予選となりました。A グループの予選終了後予定通り B グループ予選が始まり、スタートとともに櫻山選手がコースイン。ところがインラップの 5 コーナーでスリップダウン。なんとかコースに復帰してピットへ戻りました。幸いマシンやライダーに大きなダメージが無く、マシン修復後再びコースイン。傷ついたマシンでしたが 2 分 13 秒 188 とタイムを記録しレース 1 予選を 42 位で通過することが出来ました。レース 2 はセカンドラップタイムを落としてしまい 46 位となったため Waiting となりました。

■決勝レース 1

予選が午前中に行われ、午後にレース 1 が開催されました。雲は厚くなりましたが引き続きドライコンディションでのレースとなりました。

14 列目 42 番グリッドから 14 周のレースに挑みました。スタートの大混戦の中 2 台を交わして 1 周目を 39 位で通過しました。ストレートスピードは他車よりも遅く苦労していましたが、ブレーキング勝負で前車をパスしその後も追い上げ、レース中盤の 7 周目に 35 位となりました。レース後半はタイヤのグリップも落ちて各車苦しい展開になりますが、後半も粘りを見せ 32 位でゴールすることが出来ました。

■決勝レース 2

レース 2 は Waiting となっていましたが、他チームのリタイヤ等があったため繰り上がり、決勝レースを走ることが出来ました。今大会では、木曜日に WET コンディションがありましたが、エンジントラブルにより走れなかったため、ぶっつけ本番の雨のレースとなりました。決勝へ向けてセッティングを変更しレースに挑みました。当日は雨量が多く視界がかなり悪い状態でした、そんな中レース序盤でレースアクシデントがあり SC（セーフティーカー）が介入する事態となりました。櫻山は 8 周目に 40 位を走行中でしたが、SC 中の接触、転倒によりリタイヤとなりました。

■櫻山茂昇コメント

レース 2 では、SC 中の接触及び転倒という大失態を起こし、ご協賛各社様、サプライヤー様、関係者様、個人サポーターの皆様にご迷惑とご心配をお掛けしてしまい、誠に申し訳ございませんでした。このことは深く反省し同じ過ちを犯さないよう、誠心誠意努めて参ります。

レース 2 は、雨量が多く非常に視界が悪い状態（ウォータースクリーンが発生）でのレースでした。SC 中は前車に続きスロー走行をしなければなりませんが、SC 解除の周で前車がフル加速をしたため、レース再開されたと思い込んで前車に続いてしまいました。（この時、前方はほとんど見えませんでした）その後バックストレートの真ん中程で、スロー走行の集団がいるのが見え、前車がフルブレーキングをしたため、私も必死にフルブレーキングをしましたが減速しきれず、また、集団でコースが塞がれていたため逃げ場も無く、前車に追突し転倒をしてしまいました。雨のレースでのリスクの認識不足、安全への配慮不足が原因だったと思います。

今大会では、2 年ぶりに全日本選手権へ参戦するということで、自己ベストの更新、アベレージタイムの向上を目標に挑みました。初日木曜日の走行から調子が良く、このままなら目標も達成出来るかと期待した矢先にエンジントラブルに見舞われ不運なレースとなってしまいました、その後、スタッフが懸命に作業をして、チーム一丸となって諦めなかった結果、なんとか予選を走れ、レース 1 を走り切れたことは、貴重な経験になったと思います。レースは様々なリスクやトラブルが付き物ですが、色々な経験を積むことで更に強くなれると思います。

最後にいつもTeam長野を応援して下さる皆様へ心から感謝申し上げます。誠にありがとうございます。より良いレースを目指し一層精進して参りますので引き続きよろしくお願い申し上げます。